

1. 理事長所感

2015年度 公益社団法人高岡青年会議所
第45代理事長 石灰 由喜夫

【はじめに】

2015年公益社団法人高岡青年会議所は、スローガンである「行動への挑戦～強い意志が自らを変える～」を掲げ「魅力あふれる心豊かな地域（まち）たかおかの創造」のため、運動を展開して参りました。私達は本年、自身が何のために運動をするのか青年会議所の意義を一人ひとりがしっかりと捉え、ひたむきな姿勢で主体性を持って行動してきたことは、私達自身が大きく成長できた一年でありましたし、また同時にその力は地域全体に意識と行動の変化をもたらし、たかおかの未来を創造する大きな力になったものと確信しております。本年、メンバー一人ひとりの志と行動は、私達の地域「たかおか」を飛躍させる大きな可能性を感じることができた素晴らしい一年でもありました。

【45周年を機に】

これから創立50周年を目指していく上で、今後の青年会議所運動を考えた時に、経歴の浅いメンバーが多い中で、今回の45周年という節目の年に記念式典、祝賀会を開催できたことは非常に意味のある機会でありました。私達自身が「魅力あふれる心豊かな地域（まち）たかおかの創造」のため、これまでの諸先輩方が築きあげてきた歴史と想いを紡ぎ、高岡青年会議所としての存在意義を鑑みること、地域の現状を捉えて今後たかおかの将来を見据えて何のために、どのように行動するのか、その目指すべき方向を捉える機会となりました。また、今後メンバー一人ひとりが地域のためにより高い志をもち、その高い志を同じベクトルに向けて集約することができた素晴らしい機会でもありました。今後、社会づくりテーマであります「自立型社会の創造」に向け、一人ひとりが志高く行動をもって運動を推進し、活気溢れる元気な地域を創造していくことを切に望みます。

【会員拡大】

会員拡大に関して、本年度は9名の新入会員に入会を頂くことができ、メンバー皆様から多くの情報、また拡大への取組みにご尽力を頂きました。会員拡大は青年会議所運動そのものであり、また組織の根幹であります。今後継続的に運動や活動を展開するために私達自身の組織の会員をしっかりと募っていくことが必要であります。本年の拡大運動を通じて感じたことは、やはりメンバー全員の意識をどのようにしてベクトルを合わせるかということにあります。メンバー全員が同じ意識をもって拡大をしないことには成果には繋がりません。この会員拡大については、メンバー全員で意識の共有を図り、理事長を始め、役員全員が率先し行動することで、その気運を高めていくことが今後の拡大に求められることでもあります。また12月例会におきましては新入会員メンバーに青年会議所を理解して頂く素晴らしい機会であることを改めて認識をさせて頂きました。新入会員同士が様々な意見を交わし、企画、立案、実施していくことで友情を深めていくことは素晴らしく実りある機会であり、より多くの新入会員を入会させ、その意義を感じとれる学びの機会を

創出することは、既存のメンバーにおいても刺激を受け切磋琢磨に各々が成長しようとする団体へと進化することにも繋がるはずです。

【人財（ひと）づくり】

私達は高岡の未来を担って地域のリーダーとして、また企業のリーダーとして率先して行動することで、地域に対して影響を与え新たな変化を生み出す存在となる必要があります。本年は3回の例会を通して、積極的に挑戦していく行動と自分のためではない周囲から求められる人財となることで、企業や地域に良い変化を与えることができる青年経済人としてリーダーとしての資質を学びました。そこには地域、企業のリーダーとして自身の志となる軸をしっかりともつとことが大切であります。今後、時代情勢は刻一刻と変化していく中で、これからのリーダーとして求められる資質として何が必要であるのかを的確に捉えることで、未来を切り開くリーダーとしての精神性を根幹に、今後求められる、また必要となるリーダーとしての資質を、メンバー全員が得られる学びの機会をより創出していく必要があります。

【地域（まち）づくり】

2015年は北陸新幹線の開通によりこの高岡も大変大きな変化のある年でありました。私達は、講演やラインスタンプ事業を通じて、地域づくりは人づくりであることを根幹に、地域に住む私達自身が地域に対する愛着や誇りを醸成することで、魅力ある地域づくりに取り組んで参りました。本年は地域創生元年と言われる中で、今後における私達の地域の活性化は重大かつ急務であります。私達が地域の現状を的確に捉えることで、将来あるべくたかおかの未来をより具体的に捉える必要があります。今後の地域づくりのキーワードとなる高岡の魅力や問題点を理解することは、青年会議所としての地域づくり運動の視点が見えてくるはずであり、今後は継続性も考慮した事業も考えていく必要があります。それはどんな些細な運動であっても構いません。それが地域に求められるものであるならば、また私達自身が気概をもって行動していくのであれば必ずや地域全体を巻き込む運動へと繋がり、私達の地域を創造する大きな原動力となるはずです。

【次世代（みらい）づくり】

2015年は子供達の自立を育むため、講演や宿泊研修を通して志を学ぶ体験型事業を行いました。親元を離れ、子供達が仲間との交流の中で、自身の力で考え行動しようとする姿は、改めて青少年事業の大切さを学ぶ機会でもありましたし、今後の子供達への共育環境を鑑み、青年会議所にしかできないより良い共育環境づくりを推進していくことの重要性を感じました。また、地域全体で環境を作り上げていく上で、その軸となるのは家庭であり、親であります。一人の親として、地域の大人としてあるべき姿を学ぶことは、今後も継続して取り組んでいく必要があります。

【国際からの学び】

私達は韓国大邱壽城青年会議所との国際交流を通して相互理解を育み、青年経済人とし

での資質を向上させてきました。2015年は45周年と同日に韓国大邱壽城青年会議所との交流となりましたが、多くのメンバーにご参加頂いたことで広く交流の意義を感じて頂く機会となりました。本年は人づくり室の委員会にて国際の担当を担って頂きましたが、今後の社会情勢を鑑みた時にグローバル化がより一層進む中で、国際の視点は青年経済人として必要不可欠な資質であります。国際交流のみならず、今後も例会や事業を通して私達自身が国際の意義を理解し、新たな視野を積極的に広げていく必要があります。

【組織基盤の向上】

2015年はメンバー全員が目指すべき方向を合わせ、メンバー一人ひとりの活動の力を集約すべく例会やセミナーの取組み、また総会や諸会議を始め円滑かつ効果のある運営に意識をもって取り組んできました。ここ近年経歴の浅いメンバーの割合が増えてきている中で、委員会活動や会議の議論内容、運営も含めLOM内における活動の内容や各々の担い等、再度高岡青年会議所としての在り方をメンバー全員で意識を共有していくことが必要であると感じました。LOM内における活動の一つひとつは、仕事にも直接繋がる様々な学びを与えてくれます。また単年度制である青年会議所は一年ごとにメンバー全員に様々な役職が与えられ、立場の違いからの学びを得ることができる機会の宝庫であります。そんな素晴らしい機会を与えてくれる青年会議所の意義をメンバー全員がより理解することは、より価値ある団体へと変化する源となるはずです。

【最後に】

2015年は通年とは異なり各委員会の担いに加え45周年の開催もあり、メンバーの皆様には大きな負担となる年にも関わらず、皆様の御尽力のおかげで実りある一年となりましたこと、本当に感謝申し上げます。皆様が意識をもって行動してきたことは、必ずや自身の成長に繋がっております。青年会議所は会社では得ることができない学びを得ることができる素晴らしい団体であり、皆様が青年会議所の意義をもって、ひたむきな姿勢で取り組むことは、必ずや皆様にとって今後の人生を切り開くための資質を育む素晴らしい機会となるはずです。最後に、一年間本当にご尽力頂いたことに深く感謝申し上げますと共に、皆様の今後益々のご健勝をご祈念申し上げ最後の言葉とさせていただきます。

総会例会報告

- 1月10日 新年祝賀会 担当：45周年特別委員会
於：高岡商工ビル2F大ホール
- 2月3日 2月度オープン例会 担当：人財育成実践委員会
演題 「目指すべき真北の方向」～ブレない軸を心につくろう～
講師 山井 太 氏 株式会社スノーピーク 代表取締役社長
於：高岡商工ビル2F大ホール
- 2月18日 定時総会 担当：総務広報委員会
於：高岡商工ビル802・803
- 3月3日 3月度例会 担当：総務広報委員会
演題 「我々JAYCEEが地域の燈火とならん」～己の成長が社会を変える～
講師 小畑 宏介 先輩 公益社団法人日本青年会議所 第62代会頭
於：高岡商工ビル2F大ホール
- 4月7日 4月度オープン例会 担当：地域づくり実践委員会
演題 「高岡《地域イキイキ化》戦略」～元気な地域の創り方～
講師 西川 りゅうじん 氏 商業開発研究所 レゾン 所長
於：高岡商工ビル2F大ホール
- 4月16日 臨時総会 担当：総務広報委員会
於：高岡商工ビル802・803
- 5月29～31日 創立45周年記念事業 担当：45周年特別委員会
創立45周年記念フォーラム
演題 「行動への挑戦」～自立型社会の創造へ～
講師 岸 博幸 氏 慶應義塾大学大学院教授・経済学者
於：ウイングウイング高岡 ホール
- 創立45周年記念祝賀会
於：ホテルニューオータニ高岡 鳳凰の間
韓国大邱壽城青年会議所公式訪問団ウェルカムパーティー
於：ホテルニューオータニ高岡万葉・二上の間
- 6月9日 6月度オープン例会 担当：人財育成実践委員会
演題 「人一倍の情熱を！」～熱い心が人を動かす～
講師 中村 文昭 氏 有限会社 クロフネカンパニー 代表取締役
於：高岡商工ビル2F大ホール

- 6月17日 臨時総会 担当：総務広報委員会
於：高岡商工ビル802・803
- 7月10日 地区フォーラム2015in小矢部 担当：財務・組織力向上委員会
於：クロスランド小矢部
- 8月3日 8月度オープン例会 担当：国際人財開発委員会
演題 「世界に目を向けろ！」～グローバル時代を勝ち抜くために～
講師 福水 ケビン 氏 国際経営コンサルタント
於：高岡市ふれあい福祉センター多目的ホール
- 8月12日 臨時総会 担当：総務広報委員会
於：高岡商工ビル403・405
- 9月12日 9月度オープン例会 担当：みらいの希望共有委員会
演題 「子供が育つ最高の教育とは」
講師 鈴木 宣之 氏 BRT 代表
於：高岡商工ビル2F大ホール
- 9月8日 臨時総会 担当：総務広報委員会
於：高岡商工ビル403・405
- 10月6日 10月度例会 担当：人財育成実践委員会
演題 「独立自尊を先駆けるリーダーマインド」
講師 富田 昇太郎 氏 ホクセイプロダクツ 代表取締役
於：高岡商工ビル802・803
- 11月10日 11月度例会 担当：財務・組織力向上委員会
演題 「活動報告会」
於：高岡商工ビル2F大ホール
- 12月1日 12月度例会 担当：アカデミー拡大特別委員会
演題 「挑戦から進化へ」
於：ホテルニューオータニ高岡 鳳凰の間
- 12月10日 臨時総会 担当：総務広報委員会
於：高岡商工ビル403・405

【日本青年会議所並びに北陸信越地区協議会関係】

1月23～25日	京都会議	於： 京都国際会議場
1月24日	日本JC第147回通常総会	於： 京都国際会議場
6月11～14日	ASPAC コタキナバル大会	於： マレーシア コタキナバル
7月11日	北陸信越地区フォーラム IN 小矢部	於： クロスランド小矢部
7月18、19日	サマーコンファレンス2015IN 横浜	於： パシフィコ横浜
9月24～27日	第64回全国会員大会 東北八戸大会	於： 八戸公会堂
11月3～8日	第70回JCI世界会議 金沢大会	於： 石川県産業展示館

【富山ブロック関係】

2月14日	富山ブロック全体会議	於： 富山電気ビルディング
2月14日	富山県内青年会議所新年交流会	於： 富山電気ビルディング
2月16日	ブロック会長公式訪問	於： 商エビル
4月25日	富山ブロックとやまアカデミー	於： 富山 サンフォルテ
4月29日	富山ブロック協議会 ゴルフ大会	於： 小杉カントリークラブ
5月2日	全国一斉、主権者意識状勢プログラム	於： インテックススカイビルタワー111
5月13日	富山ブロック協議会 野球大会 予選一回戦(VS 富山)	於： アルペンスタジアム
9月5日	富山ブロック第43回ブロック大会	於： 黒部漁港卸売市場
7月11日	JCカップ IN 小矢部	於： クロスランド小矢部
3月26日	富山ブロック協議会事業報告	於： ホテルグランテラス
3月26日	富山県内青年会議所 卒業式	於： ホテルグランテラス

【その他事業】

1月10日	新年祝賀会	於： 商エビル
1月29日	オリエンテーションガイダンス	於： 商エビル
2月15日	瑞龍寺ライトアップ	於： 瑞龍寺
2月20日	第1回JCスクール	於： 商エビル
3月12日	第2回JCスクール	於： 商エビル
3月29・30日	エンジン01 IN 高岡	於： ウイングウイング高岡
4月15日	第2回オリエンテーションガイダンス	於： 商エビル
5月22～24日	全国城下町シンポジウム 会津大会	於： 会津雅風堂
5月31日	わんぱく相撲 高岡場所	於： 高岡古城公園相撲場
6月16日	第3回JCスクール	於： 商エビル
6月21日	わんぱく相撲 富山ブロック場所	於： 滑川吉島小学校
7月4日	青少年育成事業「志の事業」	於： 商エビル
8月1・2日	わんぱく相撲 全国大会	於： 両国国技館
8月8・9日	青少年育成体験事業「わくわくMAX キャンプ IN 能登島」	於： 中能登島キャンプ場
10月2～4日	万葉まつり	於： 高岡古城公園
10月2～4日	韓国大邱壽城青年会議所公式訪問	於： 韓国大邱
10月10日	第1回まちづくり事業「LINE スタンプ大作戦」	於： 商エビル
10月24日	第2回まちづくり事業「LINE スタンプ大作戦」	於： 商エビル
11月24日	出向者報告会	於： ビーライン高岡

【各種団体と各種事業】

1月9日	新幹線まちづくり推進高岡市民会議 第8回幹事会・合同部会	於： 商エビル
1月10日	第28回日本海高岡なべ祭開会式	於： 高岡大和横 @パーク
1月11日	地域女性ネット高岡新年懇親会	於： アバンサルプラザ高岡
1月14日	新幹線まちづくり推進高岡市民会議 全体会議	於： 商エビル
1月14日	「15冬の国宝瑞龍寺 夜の祈りと大福市」第1回実行委員会	於： 国宝瑞龍寺 大茶堂 会議室
1月18日	第33回越中万葉かるた大会	於： ふくおか総合文化センター・Uホール
1月19日	新春高岡経済懇談会	於： 商エビル
1月27日	高岡市芸術文化団体協議会新春祝賀会	於： ホテルニューオータニ高岡
2月4日	「15冬の国宝瑞龍寺 夜の祈りと大福市」第1回実行委員会	於： 国宝瑞龍寺 大茶堂 会議室
2月12日	大伴家持上京の旅慰労&反省&新年会	於： 魚山人
2月13日	日本海高岡なべ祭り企画部会	於： エルパセオ 地区集会室
2月20日	高岡古城公園100年会議 準備委員会	於： ウイングウイング
2月26日	北陸新幹線開業目前 高岡市おみやげ品試食・展示会	於： 商エレストラン
2月26日	日本海高岡なべ祭り実行委員会	於： 商エビル
3月1日	「若者による市長候補者体験セミナー」	於： 富山県庁
3月9日	「国宝瑞龍寺14春ライトアップと門前市」第1回実行委員会	於： エクール
3月14日	北陸新幹線新高岡駅開業イベント等におけるオープニングセレモニー	於： 新高岡
3月25日	高岡商エビル テナント懇談会	於： 商エビル
3月26日	高岡古城公園100年会議 準備委員会 第2回	於： ウイングウイング
3月26日	たかおか観光戦略ネットワーク 第2回	於： 市役所
4月5日	高岡商工会議所 青年部 第90回定時総会祝賀会	於： 商エビル
4月10日	高岡伝統産業青年会通常総会	於： 商エビル
4月20日	新幹線まちづくり推進高岡市民会議 第9回幹事会・合同部会	於： 商エビル
4月22日	新幹線まちづくり推進高岡市民会議 第8回全体会議	於： 商エビル
4月22日	平成の御車山制作支援委員会	於： 高岡御車山会館
4月24日	ホームタウン実行委員会総会	於： 商エビル
5月4日	あじまの万葉まつり	於： 越前市
5月9日	高岡市ボランティア連絡協議会 定期総会	於： ふれあい福祉センター
5月11日	美しいまちづくり高岡市民連絡会議 理事会	於： 高岡ストックヤード
5月18日	近世高岡の文化遺産を愛する会総会	於： 商エビル
5月23日	高岡市国際交流協会 理事会・総会・講演会	於： 商エビル
5月29日	美しいまちづくり高岡市民連絡会議 総会	於： 高岡文化ホール
6月2日	高岡七夕まつり 企画部会	於： エルパセオ 地区集会室
6月8日	新幹線まちづくり推進高岡市民会議 第10回合同部会	於： 商エビル
6月9日	高岡万葉遊楽宴実行委員会	於： 市役所
6月11日	青少年育成高岡市民会議総会・記念講演	於： ウイングウイング
6月12日	万葉集全20巻朗唱の会にいざなう会 第1回役員会	於： 市役所
6月12日	「高岡七夕まつり」実行委員会	於： 商エビル
6月17日	高岡古城公園を愛する会 総会	於： 高岡市役所

6月19日	ホームタウン実行委員会25周年記念ライブパーティ	於: サッポロビアレストラン
6月22日	高岡万葉まつり実行委員会	於: 市役所
6月24日	社会を明るくする運動高岡市推進委員会	於: 市役所
6月27日	地方創生担当大臣 石破 茂先生特別講演会	於: 商エビル
7月1日	社会を明るくする運動 街頭啓発活動	於: 高岡駅南北自由通路
7月2日	高岡ねがいみち駅伝 報告・意見交換会	於: エルパセオ 地区集会室
7月6日	夏の国宝瑞龍寺夜の祈りと大福市実行委員会 第1回	於: 国宝瑞龍寺
7月11日	高岡市ファミリーサポートセンター10周年記念講演会	於: 高岡文化ホール
7月14日	高岡商工会議所 議員・評議員懇談会	於: 商エビル
7月18日	リアル宝探し「利長伝説 名剣の謎」出発式	於: クルン高岡
7月28日	夏の国宝瑞龍寺夜の祈りと大福市実行委員会 第2回	於: 国宝瑞龍寺
8月1日	「高岡七夕まつり」オープニング	於: 万葉ロード
8月2日	高岡古城公園清掃美化運動実施	於: 高岡古城公園 本丸広場
8月11日	教育委員会の事務の点検及び評価に関する有識者会議	於: 市役所
8月19日	高岡市男女平等推進市民委員会	於: 市役所
8月20日	新幹線まちづくり推進高岡市民会議 第8回合同部会	於: 商エビル
8月20日	北陸財務局 講演会	於: 富山県民会館
9月6日	高岡商工会議所 会頭杯ゴルフコンペ	於: 花尾カントリークラブ
9月13日	前田利長公顕彰祭	於: 前田家墓所
9月24日	高岡七夕まつり 企画部会	於: エルパセオ 地区集会室
9月27日	「空き缶ゼロの日」	於: イオン高岡店駐車場
9月29日	高岡商工会議所 観光・サービス業部会 全体会議	於: 商エビル
9月29日	たかおか観光戦略ネットワーク 第1回	於: 商エビル
10月2日	「燈火の路」実行委員会	於: 市役所
10月4日	万葉集全20巻朗唱の会	於: 古城公園 中の島
10月10日	全国豊かな海づくり退会記念清掃	於: 松太枝浜一帯
10月16日	高岡七夕まつり 実行委員会	於: 商エビル
10月27日	日本海高岡なべ祭り事前協議	於: エルパセオ 地区集会室
10月30日	高岡市総合計画審議会 総会	於: 伏木コミュニテイセンター
11月11日	第30回日本海高岡なべ祭り実行委員会	於: 商エビル
11月12日	たかおか観光戦略ネットワーク 第2回	於: ウイングウイング
11月13日	カマコンin高岡の挑戦 地方再生 歴史イノベーション 創生	於: ウイングウイング
11月18日	高岡市行財政改革市民懇話会	於: 市役所
11月18日	暴力追放富山県民大会	於: 高周波文化ホール
12月22日	高岡市町並み保存、都市景観審議会	於: ウイングウイング高岡
12月24日	たかおか観光戦略ネットワーク 第3回	於: ウイングウイング

【高岡市および外部団体委嘱委員】

- 富山県行政改革市民懇話会委員
- 高岡市総合計画審議会委員
- 高岡市協働のルールづくり検討委員会委員
- 高岡市緑化審議会委員
- 高岡市街並み保存・都市景観審議会
- 北陸新幹線新高岡駅周辺整備計画策定委員会委員
- 高岡市男女平等推進センター運営協議会委員
- 高岡市男女平等推進ネットワーク会議推進員
- 高岡市男女平等推進市民委員会委員
- (財)高岡市文化振興事業団理事
- 高岡市民スポーツ振興事業団役員
- 高岡市国際交流協会理事
- 高岡青年コミュニティ会議副議長
- 高岡古城公園を愛する会理事
- 美しいまちづくり高岡市民運動推進協議会委員
- 高岡市芸術祭実行委員会委員
- 日本海なべ祭運営委員会委員
- 青少年育成高岡市民会議委員
- 社会を明るくする運動高岡実施委員会委員
- 高岡七夕まつり実行委員会委員
- 高岡万葉まつり実行委員会委員
- 万葉集全20巻朗唱の会にいざなう会役員
- 「たかおか観光戦略ネットワーク」委員
- 高岡御車山祭活性化検討委員会委員
- 高岡地区広域圏まちづくり会議委員
- 高岡市学校施設有効活用等に関する市民懇話会委員
- 高岡市公共交通利用促進協議会委員
- 山町筋整備計画検討懇談会委員
- 高岡商工会議所観光文化サービス部会 評議員
- NHK富山放送局・視聴者懇談会委員
- 高岡市協働のまちづくり推進委員会委員
- 新高岡市健康増進計画策定委員
- 平成の御車山制作支援委員

1. 副理事長・専務理事報告

副理事長 安井 誠一

【副理事長としての所感】

2015年度は、45周年という節目の年という中で委員長をはじめ各委員会メンバーに対し、担当の担い以外にも周年事業に向けて多くの役割がありました。その中でメンバーそれぞれが、何をすべきかを考え行動した結果により、無事大きな事業を終える事ができたと考えております。この事業、また今年度開催されましたすべての事業を通じて深めた絆と様々な学びを今後の活動に活かしていかなければならないとあらためて感じます。また、重点項目にも挙げられていた拡大という部分については、理事長の所信にもある通り、JC運動そのものであるという意識を今後も全メンバーで共有する機会、また組織の中枢を担うメンバーから行動を示し、それを伝え続けていく必要があると考えます。組織とは、人によって成り立っている、今後この地域がより良い地域となるよう我々公益社団法人高岡青年会議所がより強い組織へと進化する、そのために何をできるかを考え、今後も行動できればと考えます。最後に本年度、歩みを共にさせていただきましたすべての皆様に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

【次年度に向けての提言】

高岡JCの今後のメンバー数の動向をとらえた際に、5年後には現在のメンバーの半数は卒業するという中で、組織としての良い部分をしっかりと引継ぐと同時に、やはりその想いを拡大するという点において、会員の拡大というものは必須であります。メンバー各々が、この組織に誇りを持ち自信をもって運動を発信できるよう、それぞれの事業の構築に努めていくことが重要であると考えます。

副理事長 樋口 裕祐

【副理事長としての所感】

2015年度公益社団法人高岡青年会議所は「行動への挑戦」～強い意志が自らを変える～のスローガンのもと、誰のために何のために、それをどのようにしていかなければならないのかを念頭に置き、3政策を軸に運動を展開させて頂きました。また本年は45周年記念事業を実施し、高岡JC運動方針を策定させて頂きました。1年間を通し、各委員会ともに前向きに挑戦し、強い意志を持ち、ひたむきな姿勢で運動を展開させて頂きましたことに感謝申し上げます。また45周年担当ラインとして、メンバー全員のご協力のもと、創立45周年記念事業が成功裏に終える事ができましたこと、深く感謝申し上げます。現在の高岡JCは半数以上が周年事業を経験しているメンバーがいない中、多くのご来賓を迎え、メンバー全員が一丸となって関わり、1つの事業を成功させるために取り組んで頂く事ができました。更にはLOMの結束力を高める事ができ、非常に良い機会になったのではないかと考えております。2020年までの高岡JCの進むべき方向性をメンバー全員が理解し外部に発信するためにはどうすれば良いのかと非常に難しい課題でしたが、会議を重ねるにつれ、想いが形になり、ご理解を頂く事が出来たのではないかと考えております。

5年後の創立50周年の事業には、成果・反省を細かく分析し、今回の経験を最大限に活かし、メンバー一丸となって取り組まれることを望み、今後の高岡青年会議所がより良い変化をし、率先して行動できる組織になりますことをお願いし所感とさせて頂きます。

【次年度に向けての提言】

2016度は策定した運動方針に沿って事業を展開していく必要があります。そして高岡青年会議所が、社会により良い変化をもたらせ新たな価値観を創出するためにも、自らが率先し行動していただければと思います。また、青年会議所は出会いと機会の宝庫であります。多くの機会を自らが掴み取っていただき自身の新しい可能性を切り開く一助にして頂ければと思います。

副理事長 藤森 亮平

【副理事長としての所感】

2015年度公益社団法人高岡青年会議所は、「行動への挑戦」～強い意志が自らを変える～というスローガンのもと、困難な状況であろうとも積極果敢に行動を起こしていく事を常に意識し、メンバー一丸となり1年間活動して参りました。45周年という節目の本年、周年事業を抱えながらJC活動を全うしたメンバーの皆様にとっては、様々な困難と行動への挑戦の場面が数々あった事だと思います。しかしながら、苦労しながらも自己成長をし続けているメンバーの皆様の姿は、他のメンバーへの刺激となり、必ずや来年度以降へのさらなる挑戦と行動への変化につながってくると信じます。

担当のラインでは、地域や企業のリーダーとして、グローバル時代にふさわしいリーダーとして、それぞれにふさわしい人財として成長するための様々な機会を創出してきました。委員会メンバーが誰のため、何のための事業なのかを深く考え、しっかりメンバーの学びになって欲しいという強い想いで企画したそれぞれの機会は、メンバーにとって率先して学び行動し続けるための意識を養う機会になったと思います。

副理事長とはどういう立場であるべきかを迷いながらも、メンバーに多くの学びや気づきを得て欲しいという想いの中で活動したことで、逆にメンバーから多くの学びや気づきを得る事ができました。最後に、ご協力いただいた全てのメンバーに心より感謝申し上げ、所感とさせていただきます。

【次年度に向けての提言】

メンバー数が減少していくことは予算的な問題が出てくるとともに、出会いの宝庫と言われるJCでの多くの学びの機会を失うことにも直結します。こうした現状の中、拡大の意義をメンバー一人ひとりが理解し、一致団結し拡大に向け行動する事が必要です。

拡大に限らず、メンバーそれぞれが他人事ではなく自分事として組織運営に関わる事で、より良い組織へと変化していきます。一人ひとりが主体的に行動することができる価値ある組織を目指して欲しいと思います。また、公益団体としての存在意義を示せるような地域に良いインパクトを与える事業を実施して欲しいと思います。

副理事長 唐澤 隆弘

【副理事長としての所感】

2015年度は45周年事業を良き機会と捉え高岡青年会議所メンバー全体が一致団結する上で非常に重要な事業だったと感じました。45周年事業を行う上で、それぞれの委員会運営を同時に進行していく必要があり通年の運営と比べ年間を通して重要となる前半での事業構築の部分において負担が大きかったのは否めないと考えさせられました。しかしながら、各委員会が苦勞しながらもJC活動を行いここまでやり遂げたことに感謝してもしきれません。副理事長として委員会運営に積極的に眼を配り、常に自分のことのように考え方向性を導き出す必要があったと深く反省をしております。誰よりも自己研鑽する必要があり、副理事長としての責任の重さを感じさせられました。この経験を真摯に受け止め今後のJC活動を歩んで行きたいと考えます。

【次年度に向けての提言】

新たな社会づくりテーマが設けられ、新たなJC運動を行っていく上でこれまで以上の成果を上げていくにはより多くの同志を巻き込む必要があります、一人ひとりが運動に対する意識の醸成を行っていかなければなりません。財政の面においても非常に厳しい状況が考えられ、事業構築の上でこれまで通りの展開が望めないと考えます。よって次年度では第一にメンバーの拡大が必要不可欠でメンバー全員が自分のことと捉え、拡大に向け尽力していく必要があります。また、対外と関わることの多い事業においては他団体、行政、学校との日程調整等で縛られ思い通りの事業が行えないことがあります。事業を成功させるには初期の委員会運営が重要で、より早い段階からの事業構築を進めていく必要があると考えます。

2016年度からは自立型社会の創造をテーマに掲げ運動を展開していきます、誰かがではなく我々青年会議所が先導をきり活動し対外を巻き込んでいくことが重要になっていきます。共に未来ビジョンにある「魅力あふれる心豊かな地域(まち)「たかおか」の創造」に向け邁進していきましょう。

【専務理事としての所感】

2015年度、「行動への挑戦～強い意志が自らを変える～」のスローガンのもと活動してまいりました。また、本年公益社団法人岡青年会議所は45周年を迎える年でありました。周年事業の計画から実施に至るまでの間、慌ただしい日々が続くなか、各会議や年間事業も重なりメンバーにとっては肉体的にも、精神的にも苦しい時期があったと思います。しかしこの機会を通じて、メンバー一人ひとりが役割を全うし、この大変な時期を乗り越えたことは、これからの人生に置いてとてもよい経験となり、自らの成長につながる機会になったのではないかと感じると同時に、至らなさも痛感したそんな有意義であったと感じております。

専務理事という事務方の責任者として活動しました。知識不足もあり各庶務、運営面において反省すべき点等ありましたが仲間に教えを頂くと共に、支えていただけのおかげで何とか進めていくことが出来ました。総務・広報委員会には理事会、総会の運営そして庶務全般また、財務・組織力向上委員会には月1回の財務審査とLOMの力を高めるために、どうしていけばよいかという視点で事業を行っていただき、両委員会共に年間通じて多くの担いを実行していただきとても良い経験をされたと感じております。

本年大役を頂いき活動してきたことで、これまで以上にLOM全体について考えることとなり、全委員会、全メンバーのことを支えなければならないという思いをもって活動したことが自身のリーダーシップを磨く機会となりました。また、この機会をいただき、何とか1年間終えることができたこと、理事長はじめメンバーの皆様に改めて感謝いたします。本当にありがとうございました。

【次年度に向けての提言】

専務理事としてLOM運営に携わってきたことから、多くの課題に向き合うこととなりました。メンバー数の減少は今に始まったわけではございませんが、昨今では卒業するメンバー数が多いことから特に顕著に表れてきています。当然それと同時に収入の減少があり事業費、LOM運営費まで、更なる圧縮と工夫が求められる現状があります。これまでのような慣例的なやり方で運営を進めていけば、現状維持もままならず、抜本的に運営のやり方を見直し変化を起こしていかなければいけないことは改めて強く感じました。会員拡大は当然のことながら怠らず、現実を直視しながら持続可能な運営をしていけるように、知恵を出し、実行していくことが必要です。また、自らがより個性あふれる魅力的な人財へと成長し、リーダーシップを発揮していくことが地域、組織の活力の向上になります。失敗を恐れず積極果敢に行動し、地域のリーダーたらん気概をもって活動に邁進してください。

45周年特別委員会

特別委員長 山崎 真

【実施事業】

2015年 1月10日：高岡商工ビル2F大ホール：新年祝賀会
5月30日：ウイングウイング高岡、ニューオータニ高岡：45周年記念事業
7月18日～19日：クイーンズスクエア横浜他：サマーコンファレンス
11月 3日～8日：石川産業展示館他：世界会議金沢大会

【委員会としての所感】

45周年という2015年度の一大事業を少人数の委員会で企画運営できるのか、当初は本当に不安と焦りの中からスタートしました。昨年からの運営会議を立ち上げ、幾度にもわたる会議を運営していく中で少しずつ形になっていくのを感じることができたのは貴重な体験だったと思います。委員会メンバーのほとんどが周年事業未経験であるなかでも、過去の事例を調べたり、新しい試みに挑戦したりと非常に有意義な委員会活動ができ、メンバーそれぞれが貴重な経験を積むことができたと考えます。

【委員長及びスタッフとしての所感】

当初、周年事業の担当委員会の委員長という大役をプレッシャーに感じ、本当に自分で担えるのかと悩みました。しかしながら、正副スタッフ、そして積極的で自主的に行動してくれる素晴らしい委員会メンバーの尽力によって、なんとか運営会議、周年事業本番を迎え、成功させることができました。また長期間にわたった運営会議、そして膨大な周年事業の運営準備はLOMメンバー全員の多大なる協力無しには成し得ませんでした。委員長としては、会議対応に多くの力を注ぎましたが、それもすべて準備、段取りをしてくれた委員会メンバーのおかげです。素晴らしいメンバーと1年間JC活動ができたことを誇りに思っています。

ご協力いただいたすべての方々に感謝しております。本当にありがとうございました。

【次年度に向けての提言】

周年事業は区切りの年の開催となりますが、毎年のJC運動の積み重ねが周年事業の発信力に繋がってくると考えます。1年1年地道な活動を積み上げて、JCとは何のために存在し、だれ、何のために運動を行うのかを常に考えながら行動する事が必要です。仕事、家庭以外の多くの時間を費やすこともあります。それゆえ自身にとって有意義なものにする必要があります。それはJCメンバー一人ひとりの義務ではないでしょうか。まちのため、人のためにJC運動を行うことは、必ず自分自身の貴重な経験となって返ってきます。毎年の事業を少しでもより良いものにし、確実に遂行していくことが次の周年事業に繋がってくると考えます。

アカデミー拡大特別委員会

特別委員長 安井 誠一

【実施事業】

- 2015年1月29日：高岡商工ビル2F大ホール：新入会員オリエンテーション
1月29日：高岡商工ビル2F大ホール：新入会員オリエンテーション交流会
2月20日：高岡商工ビル403・405：第1回JCスクール
3月12日：高岡商工ビル802・803：第2回JCスクール
4月15日：高岡商工ビル2F大ホール：第2回新入会員オリエンテーション
6月16日：高岡商工ビル802・803：第3回JCスクール
9月24日～27日：青森県八戸市八戸市公会堂、長根公園他：全国大会八戸
12月 1日：ホテルニューオータニ高岡 鳳凰の間：12月度例会

【所感】

【委員会としての所感】

新入会員オリエンテーションでは、JCの活動を通じて自己をより良い方向に変化させる方法や入会に対する不安を解消することができました。またメンバーにおいては、JC活動を通じて自己を成長させ、積極的に行動するのは自分自身であるということを再確認致しました。そして第1回JCスクールではVMVセミナーを開催し、JCの基礎を学び正しく認識し、第2回JCスクールでは、居酒屋の青春により、参加した新入会員が少しずつ青年会議所というものに触れてきた中で、青年会議所の活動等における質問や考えなどをそれぞれ経験のある方との交流の中から双方向に見聞きできる場を創出しました。第3回JCスクールではJC青経塾により、今一度自社のことについて振り返りJCの魅力のひとつである人との交流の中から青年経済人として経営・商売の本質を考えていただき行動にうつすための意識変革の機会を創出いたしました。開催させていただきました事業に対し、多くのメンバーの参加とご協力により、今年度9名の新入会員と1名の賛助会員が入会しました。今年度の最後となる12月度例会では、全会員が挑戦し活動した1年を振り返り、今年度卒業されるメンバーの功績をたたえ祝福し、快く送り出す事が出来ました。また新入会員が事業を構築から携わり実行を主体的に行った事により、自らの自信と新入会員同士の絆を深め、今後の活動への一助となったと考えております。

【委員長及びスタッフとしての所感】

当委員会では、会員の拡大と新入会員候補者を預かり正式にメンバーとして認められるように務めることが重要な責務でした。新入会員に対してJCの基礎を伝え、多くの事業に参加いただくよう努め、より多くのメンバーと触れ合いJCの魅力を肌で感じて頂き、自らが事業を構築し経験することにより、積極的な参加意識を持つ重要性に気付き、委員会メンバー同士の絆を深めていただけた事が、今後の活動にもつながる今年度1年間の活動の成果であると考えます。

【次年度に向けての提言】

会員の拡大において、やはりメンバーそれぞれの拡大ということへの意識を一つにすることが需要であるかと思えます。本会からの拡大セミナー等を本年度も体感し、その成功例からも伺えるように、その現状が見える拡大活動を今後も念頭に置きながら活動に努めていただけたらと思えます。

人財づくり室

室長 三好 申剛

【室長報告】

【室担当実施事業】

2015年05月23日～24日：会津市内：全国城下町青年会議所連絡協議会
第34回全国城下町シンポジウム會津大会
10月02日～04日：高岡古城公園：万葉まつり

【室としての所感】

リーダーシップは誰でもいつでも発揮するものであり、国際人財開発委員会、人財育成実践委員会共に個人を磨く機会として同室で活動してきました。国際人財開発委員会では国際交流をはじめ多くの出会いを自己成長に繋げたり、大邱メンバーとの交流における高岡JCメンバー各々の対応からも学びに繋がりました。人財育成実践委員会は例会を通じて新たな学びを得ていくことで自己研鑽に繋がっていきました。

オープン例会の設えや大邱との交流はリーダーシップを実際に発揮する、確認する場としては最適であると感じました。対外の方との関わりが多い中で自身がどの様なリーダーシップを発揮しないといけないのか、常に学べる人財室でした。

【室長、STAFFとしての所感】

室長として委員会側に立ち、両委員会が目的を達成できるように、誰のために、何のためにを見失わず、努めてまいりました。室長としてサポートしていく中で、各委員会に対して慎重になりすぎ、関わりが薄くなる部分もあり、新たな学びの発見に繋がられなかった部分が反省点です。また、限られた予算の中で目的を達成することに苦労しましたが、LOM側に調整を図る役割をしっかりと行う必要があったと思います。一年間学んだことを今後の活動にも繋げるため、役割をしっかりと理解することが、多くの学びに繋がると感じました。

【次年度に向けての提言】

どこに行っても、何をやるにも人との関わりを避けることができません。多くの機会に恵まれるためにも、多くの人を巻き込むためにも、より魅力あるリーダーになることが必須です。そのために、人財室が率先して人間力を磨き、自立性と公共性を備え、行動が伴った人財像を確立し、事業の構築に努めていくことが重要であると考えます。

人財育成実践委員会

委員長 黒田 隆大

【実施事業】

2015年02月03日：高岡商工ビル 2階大ホール：2月度オープン例会
05月23日～24日：会津市内：全国城下町青年会議所連絡協議会
：第34回全国城下町シンポジウム會津大会
05月30日：高岡青年会議所45周年記念式典並びに祝賀会
06月09日：高岡商工ビル 2階大ホール：6月度オープン例会
10月02日～04日：高岡古城公園：万葉まつり
10月06日：高岡商工ビル 8階802 803：10月度例会

【所感】

【委員会としての所感】

本年度、当委員会では自らが率先して行動する人財への成長を目指して1年間活動致しました。JC歴の浅いメンバーが多く所属していた分、多くの議論を繰り返し委員会メンバーが一丸となって課題に取り組んでいく事ができたと思います。例会開催の機会を3度頂き、我々は何の為に行動していくのかを考え、2月度オープン例会を開催致しました。6月度オープン例会では、我々メンバー一人ひとりが情熱を持ち行動に移す原動力を高めて頂きたく開催致しました。その中で、より参加者の意識向上に繋がる方法を話し合い委員会メンバーの当日のブレザーを統一し、メンバーの情熱を表現しました。そして、年当初から委員会内で議論が上がっており、高岡の地で活躍されている経営者の方の話が我々の刺激になるのではないかと、それとメンバー同士での研鑽の場を行動宣言書として共有できるよう10月例会を開催致しました。以上の例会開催を通し、委員会メンバーが常にアンテナを広げ課題と向き合い活動した事は、自己成長に繋げることが出来たと考えます

【委員長としての所感】

地域や企業の永続的発展に貢献できる人財への成長には、目指すべき方向をしっかりと持ち、課題として捉えていく必要があると思います。その中で、私も含め、常にその課題についてメンバー一人ひとりが向き合う事が、自らと向き合うことにもなり成長に繋がるといった想いで活動致しました。議案に対しては常に自らを律し作成に取り組み、例会の開催当日に関しては、まずはメンバー自身が楽しみ、そして目的を伝えていく事が参加者のより気づきが多いと考え開催いたしました。6月オープン例会からはメンバーの服装も揃えさせて頂き、委員会の情熱を視覚からも伝え、数多くの参加者に想いを伝えることが出来たと考えております。至らない点も多々あったと自覚しておりますが、委員会メンバーの行動が高岡JCメンバーに対し認識を高めるきっかけになったのではないかと思います。

【次年度に向けての提言】

今年度は例会開催を通じ、参加者が自らの現在の行動を振り返り、今後の行動の変化に繋がる気づきを築く事ができたと思います。メンバー同士の真剣な活動が、お互いを刺激しあいより良い循環に繋がっていくと思います。その為には、本年度は足りない部分ではありましたが、例会開催時だけでなく、常に想いを伝え続けていく機会を提供してください。そして、これからの地域や企業の永続的発展に貢献できる人財育成へ向かい行動へ挑戦できるメンバーを増やしてください。

国際人財開発委員会

委員長 谷 知洋

【実施事業】

- 2014年12月14日～16日：韓国ソウル市内：韓国大邱壽城青年会議所 事前訪問
05月23日～24日：会津市内：全国城下町青年会議所連絡協議会
第34回全国城下町シンポジウム會津大会
- 2015年05月30日：高岡青年会議所45周年記念式典並びに祝賀会
05月29日～31日：高岡市内：韓国大邱壽城青年会議所 公式訪問受入
08月03日：高岡市ふれあい福祉センター：8月度オープン例会
10月02日～04日：大邱市内：韓国大邱壽城青年会議所公式訪問派遣
10月02日～04日：高岡古城公園：万葉まつり
11月06日～07日：高岡市内：JCI世界会議 金沢大会
エクスカッション高岡

【所感】

【委員会としての所感】

公益社団法人高岡青年会議所の創立45周年となる本年、当委員会では25年間続く韓国大邱壽城青年会議所との国際交流担当委員会が初めて人財づくり室として、今の時代に求められる国際人財を模索しながら1年間活動いたしました。国際的な人財として成長するためにはどうしたらいいかという課題に委員会メンバーが一丸となって取り組み、この変化著しいグローバル時代を切り拓ける人財へと成長する事ができました。大邱壽城JCI公式訪問団受入では9名の大邱壽城JCIメンバーにお越しいただき、創立45周年の節目を共有することができました。大邱壽城への訪問団派遣では12名の高岡メンバーに参加していただき異国の地での交流を通じて多様な文化、風習に触れて国際人へと成長するきっかけとなりました。また本年JCI世界会議金沢大会が開催され、そのエクスカッションとして世界各地のJCIメンバーが高岡の地へ来られ、地域を案内する中で国際感覚を養いました。以上の事業における交流を通し、国際人財の開発ができたと考えます。

【委員長としての所感】

国際交流の意義は、国際交流の良さや楽しさを体験していただく中から、固定観念に縛られず、様々な事を感じる中から国際人として成長することにあると考えます。そのためにも、継続的に姉妹交流を続けていく必要があります。国際的な人財へと成長するという事を念頭に積極的に世界に目を向け、相手の考え方はどうしてそうなるのかを相手の立場に立って考える事で、新たな視点を持つことができます。そうして柔軟に相手を受け入れる中から、日本人として独自に持っている感覚についても改めて気が付き、それぞれの違いを知っていく事で今後もますますグローバル化が進んでいく時代に対応できる新たな気づきや発想が生み出されていくのだと思います。

【次年度に向けての提言】

今年度は周年事業、また世界会議を通して国際担当委員会として大変良い機会を頂いたと感じております。しかし市民を交えた国際交流について、十分に実現できなかったことが心残りです。市内では年に一度、市民を交えた国際交流フェスタが行われていますが、姉妹JCI交流の中でもこのような公益事業としてできる国際交流の設えを模索して頂けると幸いです。大邱壽城青年会議所との関係は難しいものではなく、JCIの同志として交流を通していく中で様々な気づきがあり、言葉や文化の違いがあっても恐れず積極的に交流をしていただければと思います。そうすることが、これからの地域を牽引するグローバルリーダーへと成長するきっかけになります。経験の浅いメンバーにも積極的に声をかけ、大勢で大邱壽城の地へ行っていただけるよう、国際交流の意義をしっかりと学び発信できるようになってください。

地域みらいづくり室

室長 花田 将司

【室長報告】

【室担当実施事業】

2015年1月24日～ 1月25日：京都会議LOMナイト
2月15日：冬の瑞龍寺ライトアップ

【室としての所感】

対外に魅力を発信する室、また高岡JCの3政策の内2つを担う柱の室として「地域」「未来」をテーマに考え展開して参りました。また、3政策は相重なるところがありますが、欲JCでは、地域づくりは人づくり、人づくりは地域づくりと比喻されますが、この室においては「地域（まち）づくりは次世代（みらい）づくり」「次世代（みらい）づくりは地域（まち）づくり」と捉え、地域と子供たちの未来を考え構築してきました。また、室が抱える事業はどれも高岡JCメンバー全員を巻き込み総力戦で取り組まなければならないものであります。高岡JCが構築する魅力ある事業を通じ、市民を巻き込み意識醸成ならびに意識変革を進めて行かなければならない。その本質のもとどこまで実現できたのかは定かではないがこの想いを委員会メンバー一同醸成できたものと思います。

【室長、STAFFとしての所感】

室長として、事業・例会の構築に対しどのような姿勢で臨むのか、また委員会に対してどのような存在でいるべきなのか、非常にこの職について考えさせられた1年でありました。そして自分で導き出した理想像と、現実の狭間で大変苦勞と後悔が残った1年でありました。逆に捉えると自分が経験したこの1年を通じさまざまなことを今後担うであろう室長に伝えることも身に付いたような気がしております。次年度以降しっかりと担いを全うすることはもちろんのこと、伝えるべきことを伝える1年にしていきたいと思っております。

【次年度に向けての提言】

「地域づくりは次世代（みらい）づくり」「次世代（みらい）づくりは地域づくり」と記載しましたが、この高岡に住まう一人ひとりがこの地域（たかおか）の大きな傘の中に存在します。今、この地域に住まう人と、より良い地域を築きあげることが、地域（たかおか）の未来を創っていくこととなります。また、次世代（みらい）づくりにおいては子どもにとって、より良い成長のために機会を築くことが、この地域を将来築き上げる人を育て、如いては地域の未来を創っていくこととなります。

そういった非常に重要なファクターであることを再認識いただき取り組んでほしいと願います。また、明るい豊かな社会を築き上げるという理念に基づき、自立型社会の創造をテーマとして掲げました。その自立型社会とはどういったことなのか委員会で答えを持ち、その描いたものを実現できるには、どういった手法・手段を選ぶべきかしっかりと議論し、また現状抱えている問題点も鑑みたくえで、しっかりと軸を持っていただきたいと切に願います。またこの室は対外もどんどん巻き込み、その方々の意識を変革させ色々な伝播を生み出してほしいと思っております。またシンプルに、この室の“元気”がJCメンバー全員の活気を生み出すとも思っております。是非楽しんで積極的に活動を行っていただきたいと思っております。

地域づくり実践委員会

委員長 杉村 俊輔

【実施事業】

2015年 1月24日～ 1月25日：京都会議 LOM ナイト
2月15日：冬の瑞龍寺ライトアップ
4月 7日：高岡商工会議所2階大ホール 4月度例会
5月30日：高岡青年会議所45周年記念式典並びに祝賀会
10月10日：高岡商工会議所803・804 第1回地域づくり事業
10月24日：高岡商工会議所803・804 第2回地域づくり事業

【所感】

【委員会としての所感】

2015年度、地域づくり実践委員会では【わが地域（まち）理想高く！】をスローガンに掲げ、高岡を訪れた北陸新幹線開業という大きな変化を追い風に、市民一人ひとりが地域づくりに対し当事者意識、そして誇りと愛着を持ち、発展に向けて活気溢れる地域づくりに対する市民の意識に変化を起こすことを目的とし1年間行動して参りました。また高岡に住まう、いち青年経済人として高岡の発展に寄与できる人財となるべく委員会として様々な活動にも参加いたしました。その過程の中ではJCメンバーとして、ひとりの大人として、地域の担い手として、自身の成長の機会が多くあったことを思い出します。この1年間の活動の中で得た経験を次の1年間に活かす為にも委員会メンバー一同、更なる気概を持って歩んでいきたいと考えています。

【委員長としての所感】

2015年度、地域づくりの委員長という立場をお預かりさせて頂いた時は底知れぬ不安で一杯の自分がいました。はたしてこの1年間で委員会メンバーを成長させる事が自分には出来るのであろうか？委員会に頂いた1年間の担いを全うする事が出来るのだろうか？メンバーの成長、市民の意識変化を起こすことが出来るのだろうか？不安要素をあげれば切りがありませんでした。しかし副理事長をはじめ、室長、そして委員会メンバーの支えの中で活動していく過程においてその不安は良いプレッシャーへと形を変え自分自身を奮い立たせる要素へと変わっていきました。単年度制という独自の制度の中ではやり直しがきかない分、若干の悔いは残る1年となりましたが2016年度、当委員会より2名の委員長、2名の副委員長を輩出させて頂いた事は委員会として嬉しく思っています。来年は室長という立場で委員会と接する形となりますが、この1年間で培った経験、悔いを良い形で次年度の委員長へ紡いでゆきたいと感じています。

【次年度に向けての提言】

2015年度、地域づくり実践委員会では主として4月度例会、そして10月に地域づくり事業を開催させていただきました。私たちは市民の地域づくりに対する意識の変化に向けて運動を展開して参りましたが、非常に悔やまれるのは例会、事業共に一般市民の動員が少なかった事です。青年会議所として高岡の為に何が出来るのか？高岡は今、何を必要としているのか？高岡に住まう市民は何を求めているのか？を考え、学び、形にすることが必要だったと感じています。学びの中に楽しさがあり、市民、他団体と連携し、より市民を巻き込んだ地域づくりが行われることを期待します。

みらいの希望共育委員会

委員長 花田 将司

【実施事業】

2015年 7月4日：高岡商工会議所502・802・805号室：青少年育成事業
8月8・9日：石川県能登：体験事業
9月12日：高岡商工会議所2F大ホール：9月度オープン例会

【所感】

【委員会としての所感】

志の授業に関しては、挨拶のしかた話の聞き方など当たり前のように何気なく行っていたことですが、聞く姿勢態度などは学校家族では気が付かない木村講師目線でのご指導に、子供たちはもちろん私達大人でも気づき直す機会になったと思います。志と言う言葉を初めて聞いた子供たちも多かったと思います。この授業を通して子供たちの考えとらえ方が少しでも、数日でも変わってもらえたと思います。子供の人数が多く、目が届かなかったこともあり、子供たちの体調の変化や、子供達 同士の喧嘩、仲間外れなどに私たちから気づくことができませんでした。女の子が多い中で女性スタッフ 2 人ではかなりの負担を感じました。参加できるスタッフの人数を確認してから受け入れる子供の人数を考えるべきでした。子供たちを預かる側として無責任であったと思います。子供たちに将来活躍のできる人財へと成長してもらう為に、大人はどう行動しなければならないのかを、イチロー選手を育てるという経験から語っていただいたので、かなり共感できる内容でした。できれば講師の現在に至るまでに行ってきた公益的活動などの話があれば、親としてだけではなく地域の大人として子供たちにどう関わっていくのか、ヒントが見えたのではないかと感じました。一番印象に残ったのは「後悔先に立たず」と鈴木講師が話されたことです。野球を辞めたいと漏らした時の対応を誤れば、現在のイチロー選手はなかったかもしれませぬ。人生でも、後悔をしないように仕事や子育ての点においても子供に対して後悔先に立たずということ、粘り強く教えていきたいと思ひます。今我々は、我が子に対しても、そしてその周りの地域の子どもたちにも、もっと向き合い、その時々に応じて果たすべき役割を意識できていないことだろうと思ひます。大人として子どもたちのためにできること、見せるべき背中を考えていかなければならないと感じました。

【委員長としての所感】

特に事業への思い入れが強いですが、子供たちが自立していくには、こういった学校や家庭で経験できないことを地域の大人として機会を創っていかなくてはなりません。ただこういった機会を仕組みとしっかりと構築し、地域に根付かせなければなりません。特に地域としても自立していかなくてはならない現代においては、人も同様です。それは単に学校や家庭教育だけで自立はしません。地域の大人として地域の未来を担う自立した子供たちの成長のためにしっかりと関与して行ってほしいと願ひます。同時に地域の大人としても成長し背中を見せていかなければなりません。このように地域・学校・教育という子供たちを取り巻く教育環境のことを非常に学べた1年でありました。心より感謝いたします。1年間に難う御座いました。

【次年度に向けての提言】

J C活動の中で一番子供に向かい合う事業をやらせて頂いて感じたのは、いかに子供と向き合うかが大事かということです。体験事業に参加した児童はとても活発かつ自主的に活動していました。親子の間だけでは見えない子供の一面を体験事業で引き出し、大人の都合だけではなく、子供の意見・意思を尊重し、また置かれている環境からいかに子供を守り学んでもらうか。そこから子供だけではなく大人も成長できる機会を作っていただき、メンバー自身も共育には何が大切であり誰のための事業かを今一度考え活動してください。

総務室

室長 鶴井 了太

【室長報告】

【室担当実施事業】

2014年10月30日：高岡商工ビル403・405：総務財務説明会

2015年02月14日：富山電気ビルディング：富山ブロック協議会全体会議、富山県内青年会議所新年交流会

04月28～30日：瑞龍寺：春の瑞龍寺ライトアップ

09月05日：生地コミュニティセンター：富山ブロック協議会第43回ブロック大会

10月31日：ホテルグランテラス富山：富山ブロック事業報告会及び富山県内青年会議所卒業式

11月12日：ビーライン高岡：出向者報告会

【室としての所感】

今年度の総務室は総務・広報委員会、財務・組織力向上委員会からなる室です。総務・広報委員会では、LOM内の円滑な運営、対外的な発信を目指し活動してまいりました。財務・組織力向上委員会では財務の厳正なる審査を行うとともに、個々の資質の向上に努めてまいりました。事業としましては、3月例会では歴代会頭をお招きし、我々のJC活動の原点たるものをお伝えしていただきました。また、45周年記念事業としましては広報誌の作成という重要な役割をいただき、我々の活動を対外に広く広報することが出来ました。作成に関わったメンバーも高岡青年会議所のJC運動の意義を改めて知ることができたいい機会であったと感じます。11月例会では、一年間の振り返りをメンバー全員で共有することにより、今後のJC活動への原動力になりました。また、組織力向上事業では、個々の意識を高めるためのコミュニケーション能力の向上につながった事業だと思えます。

総務室の各委員会メンバーが己の役割を理解し、行動することで有意義な時間を過ごし、今後のJC活動に対する意識が芽生えた一年間であったと確信します

【室長、STAFFとしての所感】

総務室長という中間的な役割を受け戸惑いながら過ごして一年間ではありましたが、総務室内の委員長を始めとするメンバー各位に助けられ、あっと言う間の一年間でした。総務室長であれ、どのような役職も人に助けられ日々過ごしている事が改めて感じる事が出来ました。人と人との繋がりこそが自分自身の成長になくしてはならない要素であると学ぶことが出来ました。

【次年度に向けての提言】

室長職は理解することが非常に難しい役職ですが、私が一年間の室長職を仰せつかり、感じたこととして、委員会へのサポートはもちろん重要項目ですが総務担当室長として専務理事の補佐を行う事も大きな役割であると思えます。室長というのは決して日の当たる役職ではないかと思いますが、総務担当室長として自分が与えられた役割をしっかりと理解して、委員会へのサポート、専務理事への配慮を怠らず、粛々として行っていただきたいと思えます。

総務・広報委員会委員会

委員長 鈴木 良治

【実施事業】

- 2014年11月10日：高岡商工ビル505：アジェンダ勉強会
2015年02月18日：高岡商工ビル802・803：第82回定時総会
03月03日：高岡商工ビル2F大ホール：3月度例会
04月16日：高岡商工ビル802・803：臨時総会
04月28日～30日：瑞龍寺：春の瑞龍寺ライトアップ担当
05月30日：高岡青年会議所45周年記念式典並びに祝賀会
05月31日：高岡古城公園 相撲場：第12回わんぱく相撲高岡場所
06月17日：高岡商工ビル802・803：臨時総会
06月21日：滑川市立東部小学校グラウンド相撲場：第22回わんぱく相撲ブ
ロック場所
08月02日：東京 両国国技館：第31回わんぱく相撲全国大会
08月12日：高岡商工ビル403・405：臨時総会
09月08日：高岡商工ビル403・405：臨時総会
12月10日：高岡商工ビル403・405：臨時総会
通年：理事会設営・運営及び議事録作成
通年：HP配信&更新

【所感】

【委員会としての所感】

当委員会では「誰の為に何の為に」を何時も考えながら円滑な組織運営と広報活動を行ってまいりました。当委員会の多くが総務・広報委員会に所属したことが無いメンバーでしたが一つ一つメンバー全員で学びながら運営を行っている一年でありましたが一年を通じて多くの活動があり様々な機会と貴重な経験をすることが出来た委員会メンバーが大きく成長をすることが出来たと考えます。

【委員長としての所感】

委員長を受け1カ月もたたずに何もわからない状態から、各種会議の設営や議案上程作業が始まり心構えも出来ず戸惑いながら委員長としての活動がスタートしていました。そんな中でも委員会メンバーに助けられながら、3月例会ではメンバーにJC活動の素晴らしさを、45周年記念事業では広報誌にてJCの素晴らしさを多くの市民に伝えることが出来たと考えております。しかし多くの事業や諸会議の設営などによりHPの更新・配信が例会の募集だけになってしまったことは大変残念に思っております。多くの活動を一緒に行ってきた委員会メンバーに感謝申し上げるとともに、未熟な私を助けて頂いたすべての方々に感謝申し上げ委員長所感とさせていただきます。一年間本当にありがとうございました。

【次年度に向けての提言】

総務はメンバーの活動を支援することも一つの仕事です。その為にはまずは委員会を円滑に運営し、結束力のある委員会を作っていく事が必要となります。また総務委員会は円滑な組織運営の為にルールを守りまたルール強いる立場となります。言いづらいこともありますが曖昧にすることなくルールを守らせることが最終的には組織自体の成長や円滑な運営に繋がると考えます。

財務・組織力向上委員会

委員長 吉村 大輔

【実施事業】

2015年04月28～30日：瑞龍寺：春の瑞龍寺ライトアップ
04月02日：商工ビル403・405号室：組織力向上事業
07月11日：小矢部クロスランド：地区フォーラムIN小矢部
11月10日：商工ビル2階大ホール：11月度例会
通年：毎月第3水曜日：商工ビル505号室：財務審査

【所感】

【委員会としての所感】

財務・組織力向上委員会では、1年を通し財務審査会、そして組織力向上事業としてCOM&COMセミナーの開催、11月例会を行ってまいりました。組織力向上という事で何を以って組織力向上とするか当初は非常に悩みましたが、一人ひとりの素晴らしい力を集約させてこそ、組織全体としての力がより良いものになると考え、まずはしっかりと個々のスキルや意識を高める事に力を注いできました。

COM&COMセミナーにおいては、この様々な価値観を持つメンバーが集う高岡青年会議所で、自分の考えを押し付けるのではなく、お互いの価値観を認め合いそして一つの目的に向かう事は非常に重要であると考え、今一度、普段あまり意識する事のない自身のコミュニケーションを見つめ直す機会とし、コミュニケーションの原理というものを理解していただけたと思います。

また11月例会では1年間の委員会での活動や学びを振り返る中で、自分自身の活動も振り返っていただき、それらをメンバー間で共有していただく事で今後に向けた目標がより明確なものになり自己提言という形で自分自身に落とし込めたのではないかと思います。

【委員長としての所感】

財務委員長として財務委員会の経験がない中、自分自身も勉強する所からのスタートとなりました。幸いにも委員会メンバーには経験者がおり助けられながら取り組んで参りましたが、財務審査会において不備があり皆様にご迷惑をお掛けする事も多々あり深く反省しております。また入会して5年目で委員長をさせていただき、組織力向上を目的に例会、事業を企画、運営する中で今まで見えてなかった多くの事が見え、学ぶことも多い1年となりました。委員会メンバーには多くの場面で助けていただきましたし、多くのメンバーにもご協力いただきました。本当に感謝しかございません。ありがとうございました。

【次年度に向けての提言】

財務委員会として時間の厳守、不備がないような財務審査会時の書類の提出を促す等、厳しい姿勢で財務審査会に挑んでいただきたいと思います。このような取り組みが1番お互いのため、そして組織のためになると学びました。財務審査会において委員長、副委員長だけではなくメンバー全員でしっかりと知識をもって臨まなければ決して適正な審査は出来ません。そして委員会メンバーだけではなく全メンバーの財務の知識を高めることが円滑な財務運営に対し非常に重要になります。

また、近年会員数の減少により財務運営が厳しくなっております。会員数を増やし、財源を増やすことも重要ですが、財務委員会としてこの高岡JCの現状をしっかりと鑑み、時代や現状に即した規則を作っていく事が必要です。